

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

『海色の歴史回廊 くれ』美しき瀬戸 再生計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

くれ
呉市

3 地域再生計画の区域

呉市の全域

4 地域再生計画の目標

くれし
呉市は、広島県の西南部に位置する瀬戸内海に面した気候温和で自然環境に恵まれた都市である。明治22年に呉鎮守府の開庁に伴い、戦艦「大和」を建造した東洋一の軍港として、戦後は、世界最大級のタンカーを生み出す瀬戸内海有数の臨海工業都市として、海との深い関わりの中でその姿を変え、多彩な輝きを放ってきた。

平成17年3月20日には、瀬戸内海という世界に誇れる財産を有する近隣8町との合併が整い、新生「呉市」としてスタートし、平成18年度末時点における人口は約25万人、面積約353km²となっている。

また、瀬戸内海に臨む都市の中で最も長い海岸線（298.3km）を有しており、広島県内の瀬戸内海国立公園の陸地面積の約40%を占める風光明媚な地域である。

みかんの産地で知られ、潮待ち・風待ちの港として栄えたその面影を今も残す、国から重要伝統的建造物群保存地区に選定された御手洗地区を有する大崎下島、日本の渚百選にも選ばれた県民の浜を中心としたマリリゾートや古代の藻塩で有名な上蒲刈島、江戸時代には朝鮮通信使が立ち寄り、当時の資料を展示した文化施設などが人気の下蒲刈島、万葉集にも歌われた倉橋島の桂浜（海水浴場としても人気の高い）や平清盛が一日で切り開いたという伝説が残る音戸の瀬戸など、新生「呉市」には、海をキーワードとして瀬戸内海の豊かな自然や歴史、文化に彩られた多様な地域資源が光り輝いている。

新生「呉市」は、このような有形無形の地域資源の融合を図り、国内外に貢献できる「せとうち海洋交流都市」の形成を目指すとともに、これらの魅力を全国に発信するため、『海色の歴史回廊 くれ』という新しい観光キャッチフレーズのもと、観光振興によるまちづくりに力を入れている。

しかしながら、平成18年度末での旧呉市の汚水処理人口普及率は約90%を超えている一方で、瀬戸内海に面する合併8町では約56%に留まり、トイレの水洗化等も遅れており、また、海域の汚濁指数であるCODについては、経年的には横ばい状態ではあるが、

環境基準値を超えている地点が数箇所あり、河川その他の公共用水域又は海域の水質改善が求められている。

本計画は、公共下水道、農業・漁業集落排水施設及び浄化槽の各整備事業を連携させて、効率的且つ経済的な汚水処理施設の整備を図ることにより、水環境の改善による美しい瀬戸内海を取り戻し、市内各地の多彩で魅力ある地域資源を最大限に活用し、豊かな自然と瀬戸内海の海の幸を使った「呉水産祭り」「観光遊漁」「古代の塩づくり体験」などのイベントを開催するとともに、観光客や修学旅行生の受け入れ態勢を整え、「行ってみたい、見てみたい、体験したい観光都市・呉」の再生を目指す。

(目標1) 汚水処理施設の整備の促進

(呉市全域での汚水処理人口普及率を84%から88%に向上)

※当交付金以外の事業も含む

5 目標を達成するために行う事業

5-1 全体の概要

本市では、平成17年3月までの周辺8町との合併を機に、各地の多彩で魅力ある歴史、文化、伝統、風土などの優れた地域資源並びに瀬戸内海の特産物を最大限に活用したイベントを展開する。

やすうら

また、当交付金を活用し、安浦処理区において公共下水道事業を進めるとともに、集合処理区域以外の区域における個人設置型浄化槽の整備を促進して、生活環境の改善や公共用水域の水質改善を図る。

これらにより、豊かで美しい瀬戸内海を再生し、観光振興によるまちづくりを推進する。

5-2 法第五章の特別の措置を適用して行う事業

汚水処理施設整備交付金を活用する事業

対象となる事業は、以下のとおり事業開始に係る手続き等を了している。

なお、整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。

- ・公共下水道（安浦処理区）・・・平成2年9月に事業認可を取得し、その後、7回の変更を経て事業を継続している。

[事業主体]

- ・呉市

[施設の種類]

- ・公共下水道、浄化槽

[事業区域]

- ・公共下水道 呉市安浦処理区
- ・浄化槽 呉市の集合処理区域以外の区域

[事業期間]

公共下水道	平成18年度～21年度
浄化槽	平成17年度～21年度

[整備量]

・公共下水道	管渠	φ75～200	5,770 m
・浄化槽（個人設置型）			
平成17年度	5人槽		44基
	7人槽		38基
	10人槽		2基
平成18年度	5人槽		33基
	7人槽		33基
	10人槽		2基
平成19年度	5人槽		35基
	7人槽		30基
	10人槽		5基
平成20年度	5人槽		40基
	7人槽		40基
	10人槽		5基
平成21年度	5人槽		40基
	7人槽		40基
	10人槽		5基
合計	5人槽		192基
	7人槽		181基
	10人槽		19基

なお、各施設による新規の処理人口は次の通り。

公共下水道 安浦処理区で1,130人、浄化槽 集合処理区域以外の市全域で880人

[事業費]

公共下水道	事業費 314,000千円	（うち、交付金 157,000千円）
浄化槽（個人設置型）	事業費 150,059千円	（うち、交付金 50,019千円）
合計	事業費 464,059千円	（うち、交付金 207,019千円）

5-3 その他の事業

(1) 観光振興事業

本市では、市内各地の多彩で魅力ある歴史、文化、伝統、風土などの優れた地域資源を最大限に活用した、次のような観光振興事業を展開している。

① フィルムコミッションによる全国への情報発信

呉市では、平成15年度から、呉地域フィルムコミッションを設立し、映画・テレビの映像を通して、地域イメージの発信、観光客誘致に努めている。

近年、呉市がロケ地となった作品には、映画「海猿」・「男たちの大和 YAMATO」などがある。

② 「大和ミュージアム」オープン

平成17年4月に、新生呉市のランドマークともいえる呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）がオープンし、1階には大和ミュージアムのシンボルである10分の1戦艦大和（全長

26.3m)を、「呉の歴史」展示室では、呉の歴史とともに戦艦大和乗組員の手記や遺書を展示しており、戦争の悲惨さ、平和の大切さを訴えている。

3階には「船をつくる技術」展示室を設け、船を中心とした科学技術の原理について体験、体感を通して、子どもたちに紹介し、科学の不思議を楽しく学ぶことができる。

③ 観光振興に資するイベント等の開催

市主催・共催・後援の下記事業は、地域の団体等との調整を図りながら開催する。

- ・呉水産祭り(2月)
 - ・アクアスロンくらはし大会(7月)
 - ・呉海上花火大会(7月)
 - ・観光列車「瀬戸内マリレビュー」
 - ・せとうちおさんぼクルーズ(10～11月)
 - ・くれ食の祭典(11月)
 - ・観光遊漁
 - ・古代の塩づくり体験
 - ・姫ひじきの塩づくり体験
- 他

④ DISCOVER WEST キャンペーン

JR西日本では、「DISCOVER WEST キャンペーン」を展開しており、呉市に係る旅行商品として、宮島や広島、江田島、そして呉を結ぶクルーズ航路の運航をはじめ、全国でも20数台しかないボンネットバスの運行、瀬戸内海を見下ろす中四国三大夜景「灰ヶ峰」と「屋台通り」、「呉イルミネーションフェスタ」を結ぶ『呉夜景鑑賞バス』の運行を行っている。

(2)環境対策事業

本市では、循環型社会の形成を目指した環境保全事業を推進するとともに、市民の環境教育と啓発に資する、次のような事業を展開している。

① 呉市環境基本計画

すべての人々が一体となって、自然と共生し、環境への負荷が少ない循環型社会形成を目指し、環境保全に関する施策の総合的・計画的な推進を図るため平成12年3月に「呉市環境基本計画」を策定している。

本計画は、市民・事業者・行政三者の協働で推進するものとし、健全で豊かな環境の恩恵を享受するのは、市内居住者のみならず通勤・通学者及び観光客も含まれる。

② くれ環境市民の会

くれ環境市民の会は、「呉市環境基本計画」に基づくパートナーシップ組織であり、市民・事業者・行政が「環境」をキーワードに、対等な立場で共に考え行動することを目的として平成15年11月に設立された。

本会は、環境にやさしい市民活動を進める「生活環境部会」、環境に配慮できる人に育っていく「環境学習部会」、自然に親しみ学ぶこと等を柱とした「自然環境部会」、環境にやさしい企業・店舗活動を進める「資源・エネルギー部会」の4つの専門部会でそれぞれ環境保全に向けた取組を行っている。

ごみを減量すると共に温室効果ガスを削減するため、“マイバッグ持参運動”を展開している。

③ 出前環境講座

児童・生徒に、体験的な学習を通じて自然の大切さや省資源・省エネルギー等

について学習する機会を提供することによって、子どものうちから環境に対する意識を根付かせる事が重要と考えており、市職員が小・中学校に出向いて「出前環境講座」を行っている。

実施している四つのテーマのうち、特に「台所で考える環境問題」では、台所から発生するごみや水質汚濁について学習することを趣旨としている。

④ 呉市地域新エネルギービジョン策定事業

エネルギーの安定供給や二酸化炭素排出量抑制等の地球温暖化対策の一つとして、地域に適した新エネルギー導入の促進が求められている中、呉市では「呉市地域新エネルギービジョン策定事業」に取り組んでいる。

この事業は、市民の環境意識の向上や関連活動への積極的参画、地域産業の活性化、呉市発の技術・システム・モデルの構築へとつながるよう検討を進め、「人と地球に優しく環境に調和したゼロエミッション都市」を目指すものである。

6 計画期間

平成17年度～21年度

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

計画終了後に、4に示す数値目標に照らし達成状況を調査、評価し、公表するとともに、呉市及び関係機関からなる「(仮称)呉市美しき瀬戸再生会議」を開催し、改善すべき事項の検討等を行うこととする。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし